

行事報告

第二回溶接管理技術者のための研修会及び資格試験(WES)の実施

勝又 美穂子

グローバル D&I 推進室 准教授

2025 年 11 月 24 日（火）～28 日（金）の 4 日間、昨年に続き、ベトナムで二回目となる溶接管理技術者のための研修会が開催されました。研修会修了の翌日、29 日（土）には筆記試験が実施されました。この資格は日本では日本溶接協会が認証しており、ベトナムでの実施においては、ハノイ工科大学と日本溶接協会が連携して認証を行い、研修会の実施には当研究所も協力しました。今回は、当研究所及びハノイ工科大学が溶接技術者育成を目指して取り組んでいる JICA 草の根技術協力事業の一環として開催されました。

研修会は Welding Engineer (WE) レベル (WES 8103* 1 級と同等) と Associate Welding Engineer (AWE) レベル (同 2 級と同等) の 2 コースを開催しました。受講者はそれぞれ WE が 6 名、AWE が 4 名、そして再受験者 (昨年講習に参加) が 2 名でした。講習会の講師は本学接合研の田中教授、浅井特任教授、三上教授、及び熊本大学の寺崎教授がご担当されました。また、日本溶接協会から事務局 1 名にご渡航いただきました。本コースの実施言語は全て英語でしたが、特に WE の研修では溶接分野での経験豊富な受講者が多く、質問等

も活発にやり取りされ、有意義な研修会となりました。今回 AWE の受講者 4 名中 2 名は学生の参加でした。

ベトナムでは、溶接に限らず、技術レベルの維持、向上に関する国内の資格・認証の整備がまだ十分ではないため、それら技術の質の担保には国際レベルの資格制度の導入と普及は喫緊の課題です。今回の WES 認証が一層広くベトナム産業界で理解され、受験者数の増加につながるよう、今後も引き続きハノイ工科大学機械工学部溶接グループとの連携の下、普及に尽力したいと思います。来年度は 3 年目としてハノイ工科大学の教員が初めて講師を務め、ベトナム語での研修会を開始予定です。

接合科学研究所 HUST-UOsaka としても、研修会及び資格試験により国際的な技術力を身に着けた技術者と共に、長期的には技術課題の解決や研究連携に取り組む好循環サイクルの構築が行えることを期待しています。

*日本溶接協会規格



研修会の様子 (WE レベル)



研修会の様子 (AWE レベル)